

施工説明書

壁付けドームハウジング

SODH-10

このたびは、壁付け壁ドームハウジングをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

施工説明書をよくお読みの上、正しくお取扱いください。

安全上のご注意

ご使用前にこの欄を必ずお読みになり、正しくお使いください。
この欄の注意事項は、ご使用になる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りください。






警告

この表示の注意事項を守らないと、火災、感電などにより、死亡または重傷などを負う危険性が想定される内容です。

注意

誤った取り扱いをすると、人が損害を追う可能性が想定される内容および、物的損害の発生が予想される内容を示しています。

■絵表示の例

			してはいけない「禁止」内容です。
			必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物破損の原因となります。
必ず販売店に依頼してください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災、感電、故障の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り販売店にご相談ください。



分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。
内部の点検は、販売店にご依頼ください。



異常があるときは、すぐに使用をやめる

煙が出ている、変なにおいがする、落としたりケースを破損した、接続ケーブルが傷んだ、画面が映らないなどの場合は、すぐに使用をやめ、販売店にご連絡ください。



振動のないところに設置する

取付ねじやボルトがゆるみ、落下などの事故の原因になります。



設置場所の強度を確認する

取付金具を含む質量に十分耐えられる強度のあるところに設置してください。
十分な強度がないと、落下などの事故の原因となります。



塩害や腐食性ガスの発生するところに設置しない

取付部が腐食して、落下などの事故の原因となります。



注意

配線は電源を切ってから行う

感電の原因となります。また、ショートや誤配線により火災の原因となります。



ぶら下がらない、足場代わりにしない

落ちたりしてけがの原因となります。

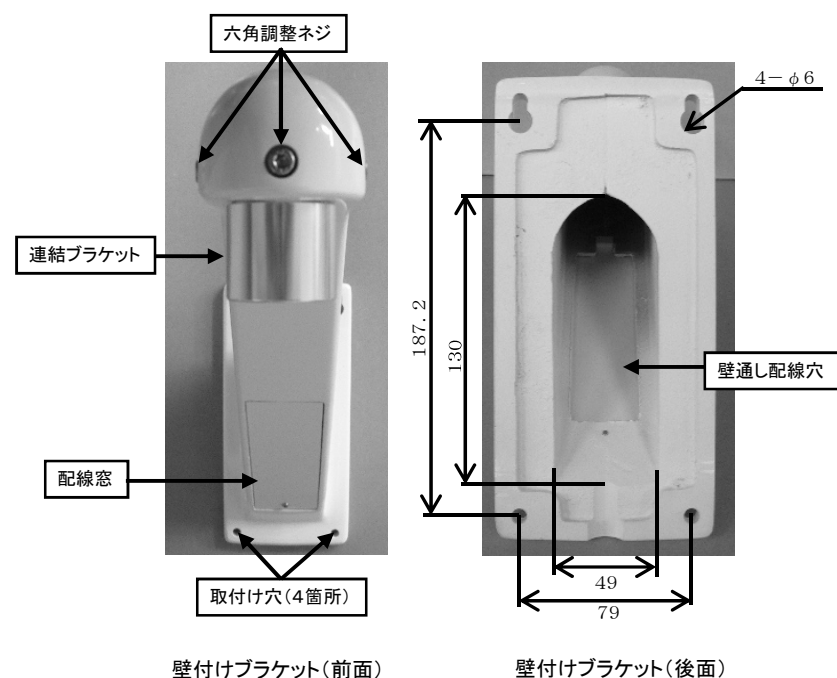


定期的な点検をする

取付部の劣化などにより、落下などの事故の原因となります。
定期点検は、販売店にご依頼ください。



壁付けブラケット 各部の名称(下図)



1. 壁付けブラケット配線

■配線を壁面を通して施工される場合

・壁付けブラケット後面の壁通し配線穴からブラケットにケーブルを通してください。

■配線を壁面に通さずに施工される場合

・壁付けブラケット前面の配線窓に穴を開けてケーブルを通してください。

※六角調整ネジを付属のヘキサゴンレンチで緩め、連結ブラケットを取り外していただくとケーブルを通しやすくなります。

2. 壁付けブラケット取付け

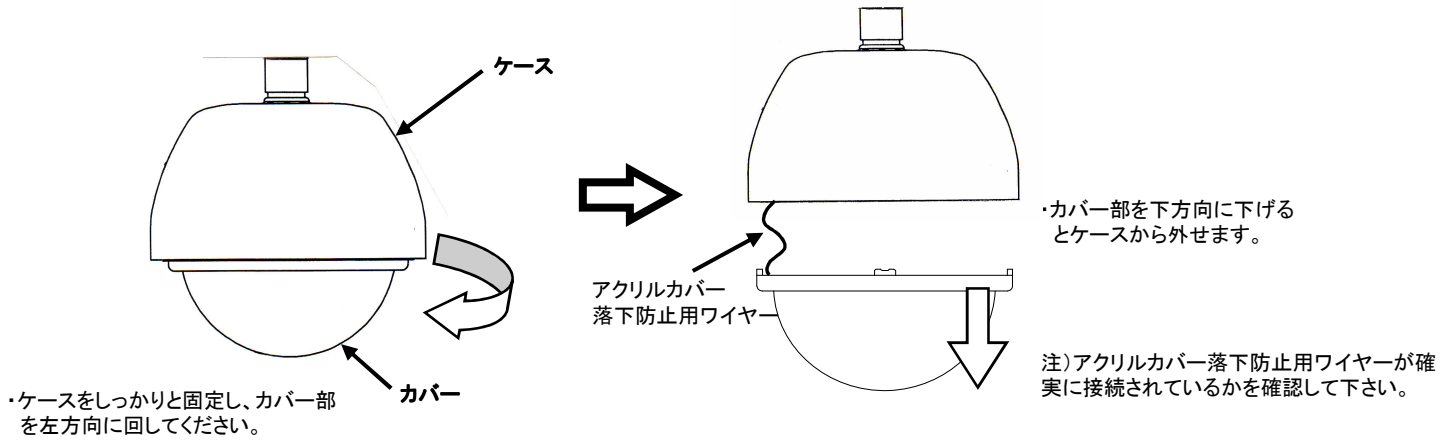
・取付け穴4箇所を使い、壁面にM6ボルトで取り付け固定してください。

・壁面に取付けた壁付けブラケットの周囲をコーキングして防水処理してください。

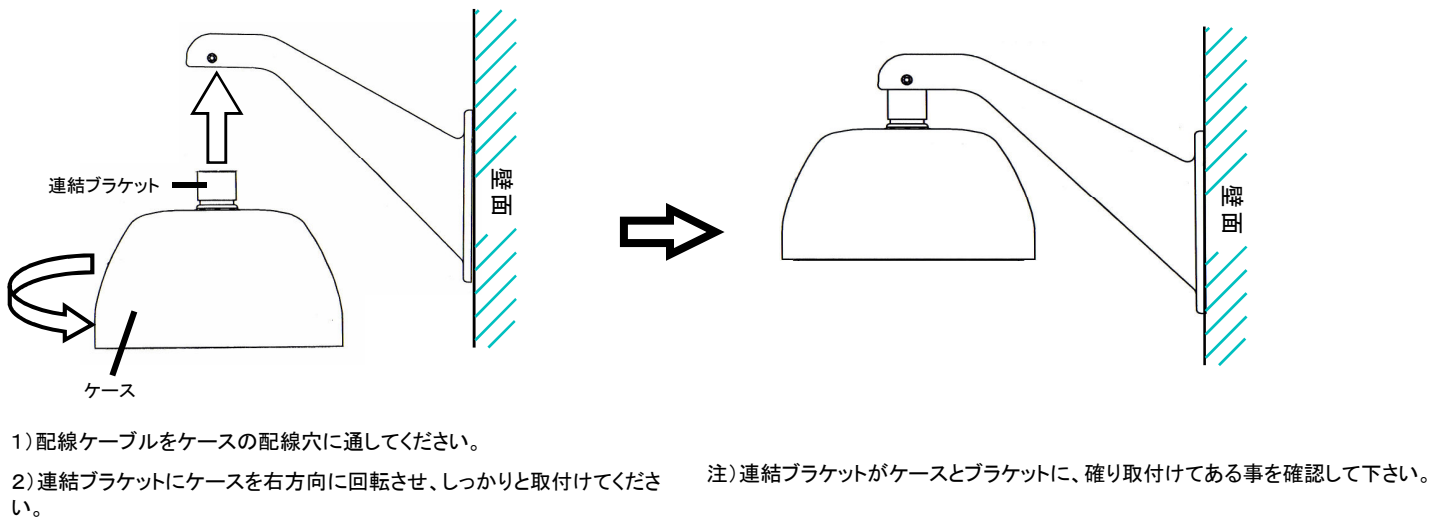
・前面の配線窓からケーブルを通される場合は、開けた穴を確実に防水処理してください。

注) 雨水等がハウジング内に入りますと、結露やカメラ故障の原因となります。

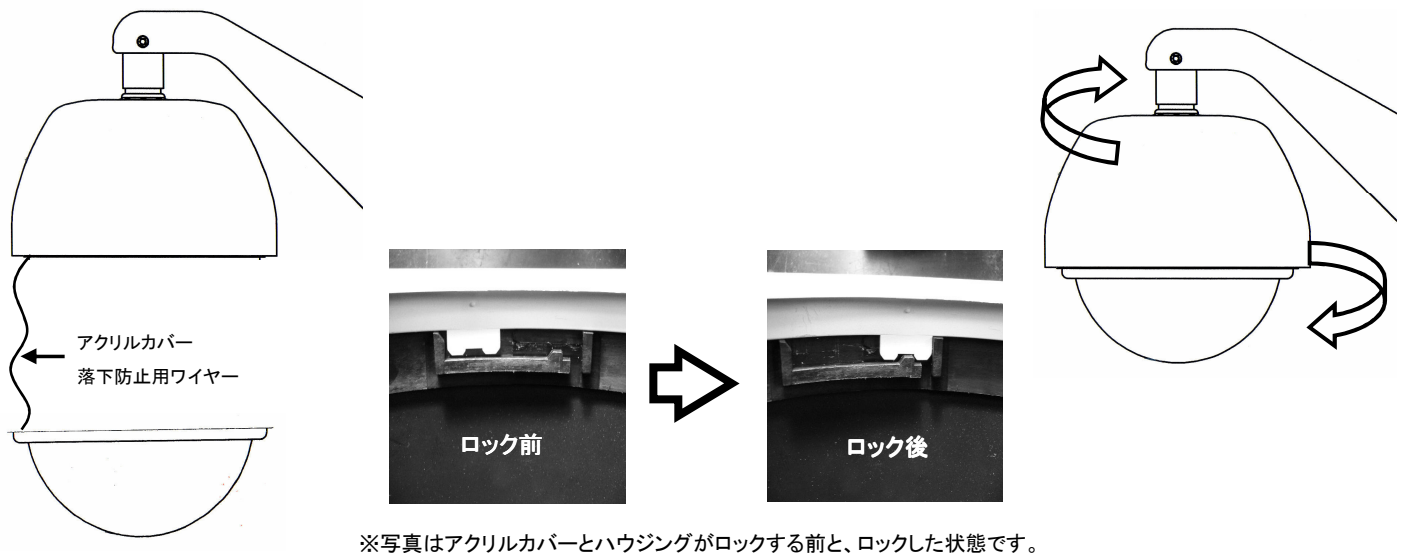
3. カバー取外し



4. ケース取付け



5. カバーの取付け



- 1) アクリルカバーをハウジング本体に取付ける時、アクリルカバーとハウジングの位置を合わせ、右方向に「カチッ」と音がするまで回して下さい。
- 2) アクリルカバー・ハウジング本体が外れない事を確認して下さい。確認が済んだら、完了です。
- 注) アクリルカバー落下防止ワイヤーをハウジングの外に出ないようにし、カメラに接触しない位置に収納して下さい。

備考) ドームハウジングの設置の際は、落下防止対策(ワイヤー等)を施して安全に備えて下さい。

セルコ株式会社

〒607-8326 京都市山科区川田御出町14番3
TEL: 075-501-0070(代表) FAX: 075-592-4275